



## 子どもが学ぶ姿「主体的で、対話的で深い学び」

その1ひとりの女の子が校長室に訪ねてきました。その手には、1本の植物がありました。

「これはなんていうナズナですか。」

訪ねてきた理由は、植物の名前が知りたかったからでした。

見せてもらおうと、よくあるナズナ（山梨県内ではペンペン草と呼ばれる）によく似ているのですが、ちょっと違っていました。ちょっとした違いに気づく目。大したものです。

「ちょっと違うね。ふつうのナズナの実はどんな形か知ってる？」

「うん。」

ナズナの実は、ハート形。しかし、この実は丸い感じで、先端にちょっとだけ切れ込みがありました。

「これは、『グンバイナズナ』っていうんだよ。」

と、メモ用紙に軍配の絵を二つ書いて、実の形が軍配に似ているからその名がついたことを伝えました。

ぱっと見るとナズナに見えるけど、何か違う、ちょっと違うところがある。じゃあこれはナズナなの？違う草なの？

この「？（はてな）」が学びの動機となって、小さな探求学習に結び付きました。



グンバイナズナ

その2男の子が図鑑を持って校長室に来ました。

「オオシマザクラって学校にありますか？」

彼は、校庭にあったサクランボを見て、これは何だろうかと図鑑で調べたのでしょ。確かに、図鑑に載っているオオシマザクラのサクランボと校庭にある桜の木のサクランボはよく似ています。いいえ、そっくりとっていいくらいでした。

でも、「これはオオシマザクラだ。」と図鑑を見て思い込むのではなく、それが正しいのかを確かめに来たのでした。

校庭にある桜は、ソメイヨシノであることを伝え、PCで画像検索をして、ソメイヨシノのサクランボを見せました。オオシマザクラのそれとそっくりです。それにしても、図鑑のなかからよく見つけたと思いました。そして、校庭の桜だから「ソメイヨシノ」だということを伝えました。

「これはなんだ？」「図鑑で調べよう。」「オオシマザクラかなあ？」「本当かどうか確かめよう！」

いきなり「これは何？」と聞きに来るのではなく、一旦図鑑を開いたことで、知識の世界が広がり、「オオシマザクラ」と出会うことができたのです。

「知りたい」「ちょっと気になるから知りたい」「何か違うから気になる」「知っていることと違ってそ」「どうも変な気がする」「本当はどうなんだろう」・・・

子どもたちのちょっとした「？」は学びのスタートになり、「？」を解消するために、調べたり、聞いてみたり、確かめたり。

今回紹介したようなケースだけでなく、学びの形は様々ですが、敷島北小が、山梨県の指定を受けて取り組んでいる「主体的で、対話的で深い学び」の姿に重なるものだと考えています。

いま求められている学びの姿に出会えて、ちょっと嬉しくなりました。

## 『伸びる子』の条件①

20年近く前に買った本（『勉強のコツ』がよくわかる本』向山洋一著（PHP 出版））に書かれていたことです。学級担任をしていた頃には、4月の学級懇談会の資料に乗せていた内容です。

伸びる子の条件は4つ。1つでもあれば上等。2つもあれば申し分なし。3つ4つと求めない。それは、それぞれ個性は違うのだから。（と書かれていました。欲張らずに考えてください。）

### 「伸びる子」の条件1《ていねいな子》

一見、のろのろに見えることもあるが、ノートがきれいだったり、絵を描かせたら花びらの1枚1枚きちんと塗るとか、折り紙をすると折り目がきちんとしているとか、玄関で靴をそろえるとか。何か、そんな気がするということがあったら、『上等』です。

北見市立深山小学校の「学校だより」No.378にも、次のようにな記述がありました。

『ていねいさ』とは、例えば算数のノートで「線を引くときは必ず定規を使って引く」「濃い文字でていねいに書く」、「机の上を片付ける」「プリントを折るときは端と端をきちんと合わせて折る」といったことです。算数の筆算の時など、横線をきちんと定規を使って引くことです。これを「面倒くさい」「遅くなる」と、言っている内は取り組みが雑になりミスが多くなる（減らない）のです。「そんな細かいことを・・・」と思われるかも知れませんが、実はとても大切なことなのです。定規は1年生からでも十分に使えます。と言うより、使わなければ使えるようにはなりません。定規を使いこなすのも「技能」ですから。

**小さなことをきちんとやらないと、大きなことはできない。**

これは、あるテレビ番組の中で全日本空輸（ANA）社長の篠辺修氏が述べた言葉です。なるほどです。

「うちの子、ていねいなところがある！」と思ったら、その長所は大切にしていあげましょう。



5年生が植えた稲。育っています！

### 産休代替、体育代替の先生の紹介

6月17日より藤原史子教諭が産休に入りました。それに伴い、それまで、井上咲子教諭の体育代替として勤務していただいていた小林忠樹教諭が、藤原教諭の代替として4年生の理科と、3・4年生のTT担当として勤務されることとなりました。

また、6月17日からの井上咲子教諭の体育代替としては、古屋孝子教諭が、井上教諭が産休に入るまでの間、1年生の体育のTT担当として勤務されます。

お二人とも経験豊富な先生です。いろいろな面でお世話になります。

## 北小花日記

知っていますよね。これはクローバー。和名（日本の名前）ではシロツメグサです。名前を分解すると、『シロ』『ツメ』『グサ』です。「白いツメの草」？

そこで問題です。シロツメグサの『ツメ』ってなあに？

- A：指の先の『爪』
- B：詰め物（梱包材）の『ツメ』
- C：『ツメ』という人の名前

・・・答えは、次号で。

